

【アメリカ】米太平洋軍及び在韓米軍に関する上院公聴会

海外立法情報課・新田 紀子

*2013年4月9日、上院軍事委員会は、米太平洋軍と在韓米軍に関する2014年度国防授權要求及び将来の国防計画の審査のため、太平洋軍司令官を証人とする公聴会を開催した。証言予定の在韓米軍司令官は朝鮮半島情勢のため欠席した。日本に関連する部分を紹介する。

1 北朝鮮

(1) 米軍の備え

カール・レヴィン(Carl Levin) 上院軍事委員長(ミシガン州、民主党)は、北朝鮮の新体制は前任者と同様の政策をとっており、「慎重な期待」は消えつつあると発言した。ジェームズ・インホフ(James Inhof) 同委員会共和党筆頭委員(オクラホマ州)は、米軍の増強は、北朝鮮の攻撃の抑止のためであり、抑止が失敗した場合には、米国の死活的利益を守るために北朝鮮を罰する用意ができていると発言した。

レヴィン委員長が、北朝鮮の挑発のような限定的な軍事行動について、ジョン・マケイン(John McCain) 上院議員(アリゾナ州、共和党)が朝鮮戦争以来最大の緊張状態であるとの認識を示した上で、北朝鮮のミサイルに対する迎撃能力について、また、リンゼー・グレアム(Lindsey Graham) 上院議員(サウスカロライナ州、共和党)が、戦争の備えについて、それぞれ質問した。これに対し、サミュエル・ロックリア(Samuel Locklear) 米太平洋軍司令官は、米軍には、米本土、ハワイ、グアム、前方展開軍、同盟国を防衛する信頼すべき能力がある旨の回答を行った。また、グレアム議員は、チャック・ヘーゲル(Chuck Hagel) 国防長官のこれまでの対応を正しいシグナルを与えたと評価した。

(2) 北朝鮮と中国の関係

マケイン議員からの北朝鮮を唯一真に抑制できるのは中国だけかとの問いに、ロックリア司令官は、唯一かどうかは別として、重要な役割を担っており、北朝鮮を抑制するのに中国はもっと役割を果たせたであろうと答えた。グレアム議員から、中国に北朝鮮を支援する理由を尋ねたことはあるかと問われ、同司令官は、中国は韓国における米軍のプレゼンスに対する緩衝として北朝鮮との関係を発展させてきたと考えていると答えた。ジョー・ドネリー(Joe Donnelly) 上院議員(インディアナ州、民主党)は、中国が北朝鮮を止めることはできるであろうが、そのような意思を持っているかと尋ねたのに対し、同司令官は、北朝鮮の行動が中国にとっての最善の利益でないと判断した場合には、その国益を守るために行動するだろうと答えた。

(3) 日本への言及

グレアム議員が、韓国と日本は、米国が彼らを支えていると思っているかと尋ねたのに対して、ロックリア司令官は然りと答えた。また、ティム・ケイン(Tim Kaine)

上院議員（バージニア州、民主党）は、不安定な隣国が核兵器を保有し、韓国や日本などが核兵器保有を強えられることは、中国にとって最悪の事態ではないかと指摘した。

2 尖閣諸島

ドネリー議員が、中国と日本その他の国との島や領有権をめぐる対立について尋ねた。ロックリア司令官は、尖閣諸島について、米国の立場は明確であり、米国は領有権紛争においてどちらの側の立場もとらないこと、しかしながら、尖閣諸島は日本の施政権下にあると認識しており、日米の同盟及び条約上の責任の下にあるという、従来からの米国政府の発言を繰り返した。そして、この米国の立場が、時間とともに、日中両国の利益に合うように展開するよう望んでおり、日中両国は、この問題を乗り越えなければならず、それが平和的になされるよう希望すると述べた。

3 在日米軍再編・普天間基地移設

レヴィン委員長は、在沖縄海兵隊の〔グアムなどへの〕移転計画を支持すると述べつつ、「財政上、作戦上健全な方法」での実施を求め、国防省から、新たに計画の詳細、最終的な建設計画、総費用を受け取ってから判断するとのこれまでの主張を繰り返した。マケイン議員も同様の発言を行った。

また、メイジー・ヒロノ（Mazie Hirono）上院議員（ハワイ州、民主党）が、普天間基地移設の状況について尋ねたのに対し、ロックリア司令官は、日本政府が沖縄県に〔辺野古沖の〕埋立て申請を行ったことに言及した。

4 日米同盟

ヒロノ議員が、「非常に重要な日米同盟」の現状について尋ねたのに対し、ロックリア司令官は、日米同盟は、この地域の礎石となる同盟関係であり、安全保障上の観点からは、これまでと同様、あるいは、おそらくそれ以上に重要となっているとし、また、軍事的同盟はこれまでになく強固で改善されており、共同指揮・統制の観点から、日本はその領土に対する弾道ミサイル防衛のような高次元の参加能力を獲得しており、日本との軍協力関係は進展していると答えた。

注（インターネット情報は 2013 年 4 月 18 日現在である。）（〔 〕は筆者による補足。）

- ・ 本公聴会の模様は<<http://www.armed-services.senate.gov/hearings/event.cfm?eventid=2071a73cf15080ce23bf264b31d91349&autostart=true>>参照。